

(様式 1-3)

野田村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	19	事業名	まちづくり連携道路整備事業(一)安家玉川線 下安家	事業番号	D-1-6
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)	
総交付対象事業費		2,237,744 (千円)	全体事業費	2,226,345 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた下安家地区の市街地内の幹線道路となる (一) 安家玉川線 (下安家) の道路整備を行う。</p> <p>(一) 安家玉川線 (下安家) は、下安家の中心部を通過する主要道路であり、沿線には鮭の孵化場などの水産業施設が立地し、日常生活に欠かせない道路である。</p> <p>今回の津波により、多数の家屋等が流失、水産業施設が被災するなどの被害が生じたことから、多重防災型のまちづくりと一体となった災害に強い延長 1.4 km の 2 車線道路を整備するものである。</p> <p>平成 25 年度から用地買収、工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き用地買収・工事の進捗を図り、平成 29 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <p>・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業)</p> <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日)</p> <p>台風 10 号被害による手戻工事費の追加に伴い、工事費が増額したため、◆D-1-6-1 まちづくり連携道路調査事業 (道路) より 21,240 千円 (国費: H23 補正予算 17,523 千円)、D-1-7 まちづくり連携道路整備事業 ((一) 野田港線 野田) より 30,000 千円 (国費: H23 補正予算 24,750 千円)、D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業 (野田地区) より 3,982 千円 (国費: H23 補正予算 3,285 千円)、◆D-4-1-1 災害復興公営住宅駐車場整備事業より 2,377 千円 (国費: H23 補正予算 1,961 千円)、◆D-4-1-2 県営住宅システム改修事業より 970 千円 (国費: H23 補正予算 800 千円)、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業より 3,197 千円 (国費: H23 補正予算 2,638 千円)、D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業より 490 千円 (国費: H23 補正予算 405 千円) を流用。</p> <p>これにより、交付対象事業費は 2,237,744 千円 (国費: 1,846,138 千円) から 2,300,000 千円 (国費: 1,897,500 千円) に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日)</p> <p>事業費精査により工事費等の額が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 55,182 千円 (国費: H28 繰越予算 45,525 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,300,000 千円 (国費: 1,897,500 千円) から 2,244,818 千円 (国費: 1,851,975 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (令和元年 10 月 7 日)</p> <p>事業完了により事業費が減額したため、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業 (久保～泊) へ 18,473 千円 (国費: H23 繰越予算 15,240 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,244,818 千円 (国費: 1,851,975 千円) から 2,226,345 千円 (国費 1,836,735 千円) に減額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					

<b>当面の事業概要</b>	
<平成 28 年度>用地補償、工事等 <平成 29 年度>工事等	
<b>東日本大震災の被害との関係</b>	
東日本大震災津波により被害を受けた下安家地区において、野田村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。 ※区域の被害状況も記載して下さい。	
<b>関連する災害復旧事業の概要</b>	
なし。	
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。	
<b>関連する基幹事業</b>	
事業番号	
事業名	
交付団体	
<b>基幹事業との関連性</b>	

(様式 1-3)

野田村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	32	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 野田山形線 野田	事業番号	D-1-8
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)	
総交付対象事業費		2,250,000 (千円)	全体事業費	2,363,082 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた野田地区の市街地内の幹線道路となる (主) 野田山形線 (野田) の道路整備を行う。</p> <p>(主) 野田山形線 (野田) は、野田村の中心部を通過する主要道路であり、沿線には役場等の主要施設が立地し、日常生活に欠かせない道路である。</p> <p>今回の津波により、野田地区の多数の家屋等が流失するなどの被害が生じたことから、当地区の高台移転と一体となった延長 1.5 km、幅 12.5m の 2 車線道路を整備し、安全で安心な地域づくりを推進するものである。</p> <p>平成 24 年度から用地買収、工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き用地買収・工事の進捗を図り、平成 29 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <p>・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業)</p> <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日)</p> <p>詳細調査に基づく補償費の増額のため、D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業 (野田地区) より 202,000 千円 (国費: H23 補正予算 166,650 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,250,000 千円 (国費: 1,856,250 千円) から 2,452,000 千円 (国費: 2,022,900 千円) に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日)</p> <p>事業費精査により工事費等の額が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 70,000 千円 (国費: H23 繰越予算 57,750 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,452,000 千円 (国費: 2,022,900 千円) から 2,382,000 千円 (国費: 1,965,150 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (令和元年 10 月 7 日)</p> <p>事業完了により事業費が 18,918 千円 (国費: 15,606 千円) 減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 8,888 千円 (国費: H23 繰越予算 7,332 千円)、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業 (久保～泊) へ 10,030 千円 (国費: H23 繰越予算 8,274 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,382,000 千円 (国費: 1,965,150 千円) から 2,363,082 千円 (国費: 1,949,544 千円) に減額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<平成 28 年度>用地補償、工事等					

＜平成 29 年度＞工事等	
東日本大震災の被害との関係	
東日本大震災津波により被害を受けた野田地区において、野田村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。 ※区域の被害状況も記載して下さい。	
関連する災害復旧事業の概要	
なし。	
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。	
関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	